

令和6年度 第2回学校運営協議会報告書

令和6年10月24日 13:15～ 領内小学校 低学年図書室にて

出席者13名

1 開会のことば

2 校長あいさつ

3 協議事項

(1) 学校運営の中間報告について

- ・ 本校の教育活動及び生徒指導について（教務）
- ・ 施設・設備、防災面について（校務）
- ・ 「こんなものあるといいな」の児童アンケート結果からできることについて（県事務）

※ 別紙資料で上記のことを説明。

(2) 学校運営基本方針に基づく今後の教育活動・地域学校協働活動について（校長）

学校・家庭・地域が互いに「当事者」となり、共通の目標に向かっていくようにしたい。上手くいなくても、学校・家庭・地域で子どもを育てるという意識をもって継続していくことが大切である。

(3) 学校評価について（教頭）

10月25日までを回答期限に、教育活動に関するアンケートを保護者対象に行っている。アンケート結果を、教育活動に反映させる。1月にも実施する予定。

(4) 学校課題についての情報共有（教頭）

「どんな子どもに育ってほしいか」について、家庭や地域の方の願いを付箋に書いた後、知・徳・体に分け、キーワードでくる。願いを共有し、今後、学校のグランドデザインに生かす。

(5) 授業参観

4 意見交換（協議事項を受けて、各種活動の活動内容の紹介・報告等）

- ・ 小学校の統廃合について、高学年にも意見を聞いてみてはどうか。効率化だけでは町が完全に消えてしまう。学校と地域のつながりも消え、子どもが学校に行く姿が見えなくなること、老人が家から出なくなってしまう。
- ・ PTAの通学路点検を受けて、スクールガードの会長として現場を見に行った。歩道に草が多かったため、支所に要望して草刈りをしてもらったが、市道か県道かで対応に違いが出るので難しい。また、稲を植えた時期は用水の水が多くなるので、注意して通学してほしい。
- ・ 地域学校協働活動推進員の立場として、学年園（畑）の草刈りについて、地域がどこまで入ったらよいのか。芋掘りに向けては、校務主任と担任が事前準備をしてくれた。
- ・ 芋掘りは、領内保育園と連携して行っている。今後も継続していけるとよいが、どのように引き継いでいくか、小学生と園児の関わり方をどうしていくとよいか等、考えていけるとよい。
- ・ 地域の夜の集まりに先生方が参加することは、勤務時間外になるので、できるだけ避けられるとよい。
- ・ 現職の取組を、ぜひ保護者や地域へも発信を。この場だけというのはもったいない。
- ・ 体育振興会として、12月にソフトバレーボール大会を予定している。スポーツを通じた地域交流を目指している。
- ・ 学校が、安心して学ぶことのできる集団づくりに力を入れてくださることはありがたい。相手の立場に立つことや言葉遣いについての指導は、親にもよい影響を与えと思う。
- ・ おやじの会の秋祭りが近々開催されるので、子どもたちに楽しんでもらいたい。当日は人手が足りないこともあるので、手伝ってもらえる時だけでも来ていただけるとありがたい。
- ・ スクールガードへの正しい理解を。感謝の気持ちはあるのだろうか？現在、高齢化や担い手不足が問題である。若い世代の方にも入ってほしい。また今後は、子どもたち自身で登下校できる力をつけさせる必要もある。

5 その他

- ・ 第3回学校運営協議会 2月27日（木） 13:15～

6 閉会のことば